

【A年】

聖霊降臨後第三主日

特定七

すべての良い賜物を造り、これを与えてくださる力ある神よ、み名を愛する愛をわたしたちの心に植え、まことの信仰を増し加え、すべての善をもつて養い、み恵みのうちにこれを保たせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はエレミヤ書第二十章七節から」

7 主よ、あなたがわたしを惑わし
わたしは惑わされて

あなたに捕らえられました。

あなたの勝ちです。

わたしは一日中、笑いにされ

人が皆、わたしを嘲ります。

8 わたしが語ろうとすれば、それは嘆きとなり

「不法だ、暴力だ」と叫ばずにはいられません。

主の言葉のゆえに、わたしは一日中

恥とそしりを受けねばなりません。

9 主の名を口にすまい

もうその名によって語るまい、と思つても

主の言葉は、わたしの心の中

骨の中に閉じ込められて

火のように燃え上がります。

押さえつけておこうとして

わたしは疲れ果てました。

わたしの負けです。

10 わたしには聞こえていません

多くの人の非難が。

「恐怖が四方から迫る」と彼らは言う。

「共に彼を弾劾しよう」と。

わたしの味方だった者も皆

わたしがつまずくのを待ち構えている。

「彼は惑わされて

我々は勝つことができる。

彼に復讐してやろう」と。

11 しかし主は、恐るべき勇士として

わたしと共にいます。

それゆえ、わたしを迫害する者はつまずき
勝つことを得ず、成功することなく

甚だしく辱めを受ける。

それは忘れられることのない

とこしえの恥辱である。

12 万軍の主よ

正義をもって人のほらわたと心を究め

見抜かれる方よ。

わたしに見させてください

あなたが彼らに復讐されるのを。

わたしの訴えをあなたに打ち明け

お任せします。

13 主に向かって歌い、主を賛美せよ。

主は貧しい人の魂を

悪事を謀る者の手から助け出される。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第六十九編 七、十、十五、十七節

7 万軍の主なる神よ、あなたを待ち望む者が、わたしのため

に恥を受けることがないように＝ イスラエルの神よ、あ

なたを求めめる者が、わたしのために辱められることがな

いように

8 わたしはあなたのために恥を忍び＝ 恥ずかしさのあまり

顔を覆う

9 兄弟からのけ者にされ＝ 家族のものから邪魔者と見な

された

10 あなたの家を思う熱心が、わたしを食い尽くし＝ あなた

へのそしりがわたしの身に降りかかった

15 泥沼に沈まぬようにわたしを助け＝ わたしを敵の手から

助け、水の深みから救い出してください

16 大水がわたしをのみ込み＝ 深い淵、水の底にわたしを閉

じ込めないように

17 主よ、慈しみ深くわたしにこたえ＝ 憐れみ深く顧みて

ください

使徒書

朗読者 「使徒書はローマの信徒への手紙第五章十五節から」

15 一人の罪によって多くの人が死ぬことになったとすれば、

なおさら、神の恵みと一人の人のイエス・キリストの恵みの賜物とは、多くの人に豊かに注がれるのです。16この賜物は、罪を犯した一人によってもたらされたようなものではありません。裁きの場合には、一つの罪でも有罪の判決が下されませんが、恵みが働くときには、いかに多くの罪があっても、無罪の判決が下されるからです。17一人の罪によって、その一人を通して死が支配するようになったとすれば、なおさら、神の恵みと義の賜物とを豊かに受けている人は、一人のイエス・キリストを通して生き、支配するようになるのです。18そこで、一人の罪によってすべての人に有罪の判決が下されたように、一人の正しい行為によって、すべての人が義とされて命を得ることになったのです。19一人の人の不従順によって多くの人が罪人とされたように、一人の従順によって多くの人が正しい者とされるのです。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マタイによる福音書第十章二四節以下に記され

た主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

24弟子は師にまさるものではなく、僕は主人にまさるものではない。25弟子は師のように、僕は主人のようになれば、それで十分である。家の主人がベルゼブルと言われるのなら、その家族の者をもつとひどく言われることだろう。」

26「人々を恐れてはならない。覆われているもので現されないものはなく、隠されているもので知られずに済むものはないからである。27わたしが暗闇であなたがたに言うことを、明るみで言いなさい。耳打ちされたことを、屋根の上で言い広めなさい。28体は殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、魂も体も地獄で滅ぼすことのできる方を恐れなさい。29二羽の雀が一アサリオンで売られているではないか。だが、その一羽さえ、あなたがたの父のお許しが必要ならば、地に落ちることはない。30あなたがたの髪の毛までも一本残らず数えられている。31だから、恐れるな。あなたがたは、たくさんの雀よりもはるかにまさっている。」

32「だから、だれでも人々の前で自分をわたしの仲間であると言いつた者は、わたしも天の父の前で、その人をわたしの仲間であると言いつた。33しかし、人々の前でわたしを知らないと言いつた者は、わたしも天の父の前で、その人を知らないと言いつた。」

司祭
会衆

「主に感謝」
「主に感謝します」